

平成24年度 保健福祉部 運営方針

H24. 4. 26
経営会議資料1
(保健福祉部)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを簡条書で「美咲市福祉のまちづくり条例」の理念に基づいて施策を推進)

項 目	根拠となる計画・指針等
・地域福祉ネットワークの推進と共に支え合う地域社会の実現	・美咲市地域福祉計画
・障がい者の自立生活と地域移行支援施策の推進	・美咲市障がい者プラン
・子育て支援ネットワークの構築など総合的子育て支援	・びばいっこすくすくプラン
・高齢者が安心して暮らせる地域包括ケア体制の充実	・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
・介護予防や地域を基盤とした健康づくりの推進	・ " ヘルシーライフ21
・保健予防体制の充実と疾病予防事業の推進	・びばいヘルシーライフ21
・地域医療の確保	・美咲未来交響プラン前期基本計画

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に簡条書で)

①地域の課題解決に向けた地域福祉活動への支援
②総合福祉センターの整備
③地域福祉会館の整備（東福祉会館・茶志内中央福祉会館）
④子育てサービスの充実や地域社会全体で子育てに関わる地域子育て拠点支援事業の推進 (子育て支援サポーターの育成など子育て地域ささえあい事業の推進)
⑤相談支援の充実や各種団体との連携など家庭児童相談事業の充実
⑥総合相談・権利擁護・ケアマネ支援・介護予防マネジメン等地域包括支援センターの適切な運営
⑦介護予防事業、健康づくり事業、生活支援事業など地域支援事業の推進
⑧独居高齢者等の安全・安心な生活を確保するための緊急通報システム更新
⑨特定健診・特定保健指導の効果的な実施と生活習慣病予防支援の充実などによる中高年疾病予防事業の推進
⑩市民が安心して生活できる安定的な地域医療体制の確立

6 年間スケジュール（3に記載した事項）

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①地域福祉活動の支援 (通年)												
②総合福祉センター整備												
③地域福祉会館整備												
④地域子育て拠点支援・ 子育て地域ささえあい事業の推進	通年 西地区「であえゆる 広場」東地区「東福祉 広場」を開設し世代間 の交流を図る		子育て支援サポ ーター養成講習		ファミリーサ ポート講習							
⑤家庭児童相談事業の充実												
⑥地域包括支援センター 運営事業	通年											
⑦介護予防等地域支援事 業の推進	通年											
⑧緊急通報システムの更新	入札・契約	利用者周知 端末機取替										
⑨特定健診・特定保健指導	通年 生活習慣病予防				特定健診							
⑩地域医療体制の確立	庁内検討委員会の設置、地域医療ビジョンの策定、議会報告、市民説明・啓発、関係機関との協議、国・北海道への働きかけ											

2 部の経営資源

(平成24年4月1日現在。予算規模は平成24年度予算書から集計)

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	74 人	一般会計	3,070,614	介護保険会計	2,489,471	介護サービス 費	75,559	会計	0	全体予算	5,635,644
嘱託	62 人	関係職員費	532,622	関係職員費	90,382	関係職員費	143,285	関係職員費	0	関係職員費	766,289
臨時	46 人	公債費	25,105	公債費	120	公債費	235	公債費	0	公債費	25,460
計	182 人	計	3,628,341	計	2,579,973	計	219,079	計	0	合計	8,427,393

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン・施策評価から選択)

指標名	現状値 (H23決算)	H24目標値	備 考
子育てしやすいまちだと思ふ市民の割合	H23アンケート 34.5%	46.7%	H27目標値 60.0%
自分が健康だと思ふ市民の割合	H23アンケート 70.6%	76.0%	H27目標値 80.0%
地域で生活できている障がい者の割合	95.2%	96.2%	H27目標値 96.5%
自立高齢者率	82.0%	83.0%	H27目標値 85.0%

5 事務事業インデックス I 期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
4-2	恵風園・恵祥園の民営化	恵風園・恵祥園見直し方針の検討

時 期	質問要旨、一般質問、常任委員会、特別委員会、質問者	答 弁 要 旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
1定	孤立死防止対策 1 電気、ガス等事業者との連携は可能か 2 孤立死防止対策の考え方 〔一般質問:森川議員〕	①北海道が一定の基準を作成するのを待って検討。 ②障がい者自身や家族など緊急時の連絡体制を整える必要性について周知を図るとともに、安否確認、声かけなど民生児童委員の日常訪問活動の体制づくりを進める。	①道では、検討会議の中でガイドラインを作成し、各市町村へ通知。作成時期は、会議の進行状況によるため未定。今後、道作成のガイドラインをもとに市で検討する。 ②8月までに、民生委員連合会と協議し、体制の整備行い、広報などで安否確認、声かけ、相談先など周知を図る。	①道の検討会議開催状況 平成24年3月7日、第1回会議開催、第2回会議は、4月中に予定。
1定	地域福祉会館では、豪雪により、除雪費用がかさんだと思われるこの対応については、どう考えているか。 〔予特:桜井委員〕	地域福祉会館の管理者と今後も協議し検討していきたい。	7月に「地域福祉会館運営等会議」を開催予定	
1定	地域医療体制について ・今後のスケジュールについて ・労災せき損センターなどとの協議の考え方について 〔一般質問:丸山議員・長谷川議員〕	3月末に検討委員会において「今後の地域医療体制のあり方」の方向性をまとめる。 この方向性に基づき、安定的な医療体制の確立に向けて、市立病院の今後のあり方も含めて関係機関と協議する。	①庁内検討委員会を設置し、平成24年度早期に地域医療ビジョンを策定 ②議会報告、市民説明・啓発を実施 ③救急体制など具体的課題について関係機関と協議(協議機関の設置は今後検討) ④国・北海道などへの働きかけ(医師確保活動含む)	平成24年3月 地域医療体制の在り方検討委員会において「今後の地域医療体制のあり方」について一定の方向性をまとめた。 平成24年4月 第1回地域医療庁内検討委員会を開催(予定)
1定	市民の健康意識の啓発、予防の観点から高齢者の肺炎球菌ワクチン接種事業やピロリ菌検査の実施時期について 〔一般質問:土井議員〕	・高齢者の肺炎球菌ワクチンについては、接種年齢、接種費用の負担など市の考え方を早急にまとめ、様々な角度から実施に向けて検討する。 ・ピロリ菌検査については、国のがん検診の指針に定められていないことや、現在も有効性について研究が進められていることから、引き続き国の動向を注視する。	・高齢者の肺炎球菌ワクチンについては、5月を目途に接種年齢、接種費用の負担など市の考え方をまとめることとする。	・厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会において、予防接種化を検討している高齢者の肺炎球菌ワクチンを定期予防接種法上に位置付けた場合の疾病区分について、個人予防を目的に比重を置いた二類疾病に分類案が示されており、国の動向を注視している。

平成24年度 商工交流部 運営方針

H24. 4. 26
経営会議資料1
(商工交流部)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを簡条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
①農商工連携の推進(産業間連携の仕組作り・PR活動と情報発信強化) (食にこだわったまちづくり推進事業含む)	美唄未来交響プラン
②商工業の振興(魅力ある商業環境づくり・企業活動の活性化)	
③観光・交流の推進(情報発信・PR活動充実・交流拡大の仕組づくり)	
④雇用対策の推進(就業環境、働く環境の充実等)	
⑤第3セクターの支援	

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に簡条書で)

①農商工連携推進事業：農商工間及び試験研究機関との連携による需要拡大と消費定着に向けた戦略の構築と実践
②地元農産品活用推進事業(緊急雇用創出事業：地元農産品等を活用した新創作料理の開発等 (食にこだわったまちづくり推進事業含む))
③商工業活性化促進事業(緊急雇用創出事業) 特産品PR・販売サイト〈美唄ファブ・カサハ(PIPA)〉の再構築(PIPAサイトに顧客情報管理機能の構築及び顧客への定期的情報発信)
④地場産品アンテナショップ活性化事業 特産品の販売PR、観光情報の発信、事業の検証と今後の展開方向、利用者や市民意識調査等
⑤地域力広域連携チャレンジ事業 関西圏・札幌圏広域観光PR、広域観光ツアー募集支援、ホスピタリティ講演会の開催(2回予定)、観光情報誌広告
⑥美唄国設スキー場整備事業及びパークゴルフ場整備事業 スキー場圧雪車(H元年車)の更新、パークゴルフ場整備「9ホール増設」(H23～H24)
⑦中心市街地活性化の推進・企業誘致活動の強化 まちなか交流広場や市民ふれあいサロンを活用した販促創出 データセンター等情報関連企業・製造業・食糧備蓄基地・新エネ関連企業の誘致・グローバルな企業誘致の展開)
⑧産業振興計画策定及び計画の推進 農商工連携の推進、商工業振興、観光・交流の振興を柱とした計画書の策定。
⑨地域経済円卓会議の設置及び開催(地域経済の情報収集・意見交換等を通じ課題解決を図るため、定期的に開催)
⑩BHC・HCC等、第三セクターの事業支援→BHC貸室事業及びHCC事業(学生募集他)に対する支援(人的支援含む)

6 年間スケジュール(3に記載した事項)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
農商工連携推進事業 (食にこだわったまちづくり推進事業含む)	農商工団体・産業支援機関(食加研等)との連携：需要拡大と消費定着に向けた取組みの構築・実践											
		食まち市民推進 会議開催(前年度 事業評価・当年度 事業計画協議)		食のフリマ開催	食のフリマ開催	食まち市民推進 会議主催の市民 試食会開催	食まち市民推進 会議開催			・食まち市民推進 会議開催 ・体験プログラム 開催		
	・農商工連携推進 助成事業の補助 要綱策定。	5月号メロディ及 びHPによる補助 対象事業計画の 募集・PR	審査会・計画認定	事業計画の2次 募集・PR(予定)		2次募集(予定) に伴う審査会・計 画認定				制度設計の見直し(必要 がある場合)	----->	関係例規等改正
	通年：商品開発等に伴う相談・助言等支援対応											

2 部の経営資源

(平成24年4月1日現在。予算規模は平成23年度予算書から集計)

部の構成

商工交流部理事(農商工連携担当)、商工労働課(第3セクター等含む)、観光交流課

職員数		予算規模(単位：千円)									
正規	13 人	一般会計	937,001	会計	0	会計	0	会計	0		937,001
嘱託	1 人	関係職員費	82,669	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0		82,669
臨時	人	公債費	215,146	公債費	0	公債費	0	公債費	0		215,146
計	14 人	計	1,234,816	計	0	計	0	計	0	合計	1,234,816

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値(H22決算)	H24目標値	備 考
新たに商品化された特産品数	—	—	H27年度まで3商品目標
工業出荷額	158.1億円	↗	H27年度192億円を目標
交流人口(観光入込客数)	36.5万人	↗	H27年度40万人を目標

5 事務事業インデックス I 期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
6-8	民営化の検討(「株」美唄未来開発センター)	引続き検討(現在市から代表取締役社長副市長とほか取締役2名)

6 年間スケジュール（3に記載した事項）つづき

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地元農産品活用推進事業（祭風）	・事業算集・説明会 ・計画書提出 ・プレゼン及び選考 ・業務委託契約			・委託料概算払 (実績報告に基づくもの)			・委託料概算払 (実績報告に基づくもの)			・委託料概算払 (実績報告に基づくもの)		・委託業務終了 ・成果報告
地域農産品アンテナショップ活性化事業	・出店者協議会部 会設置											
商工業活性化促進事業（祭風）	・事業説明(BMC) ・事業計画書提出 ・業務委託契約			・委託料概算払 (実績報告に基づくもの)			・委託料概算払 (実績報告に基づくもの)			・業務委託終了1/末 ・成果報告1/末	・委託料概算払 (実績報告に基づくもの)	完了報告(4月)
地域力広域連携チャレンジ事業		広域観光ツアー実施 関西圏広域観光PR	情報誌掲載		札幌圏広域観光PR		広域観光ツアー		ホスピタリティ講演会①		ホスピタリティ講演会②	
美唄国設スキー場整備事業及びパークゴルフ場整備事業		圧雪車購入契約締結				パークゴルフ場9ホール増設工事(5月～3月)			圧雪車納車			
中心市街地活性化・企業誘致等	まちなか交流広場の 活性化 賑わい創出(市民ふ れあいサロン)補助 申請受付 食糧備蓄基地立地 に向けての協議(市・ 民間関連事業所等) 企業誘致活動 空知団地企業誘致 推進会議(H24事業 計画等)			まちなか交流広場 ワクワク祭りの支援	食のフリマ開催 (予定)							
産業振興計画策定・推進	産業振興計画(案)の作 成及びバブコメ等						推進会議共同誘致活動					
地域経済円卓会議の設 置・開催	地域円卓会議の設置(設置 要綱等の作成)		第1回円卓会議の 開催		第2回円卓会議の 開催			第3回円卓会議の 開催			第4回円卓会議の 開催	
第三セクター支援	BHC											
	HCC											

時 期	質問要旨、一般質問、常任委員会、特別委員会、質問者	答 弁 要 旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
1定	一般質問:土井議員 農業者の高齢化に伴い、労働力を外部に依存する方が増える傾向にあることから、基幹産業の農業を守る意味でも、労働力確保の対策を講じる必要があるのではないか。	農業者の高齢化に伴う労働不足への対応として美唄市農協が行っている「無料職業紹介事業」など、求人と求職者への情報伝達の仕組みを関係機関と協議したい。	4月中に美唄市農協と「無料職業相談事業」を通じた市との連携方法などについて協議・検討を行ない、具体的な対応策を見出す。(峰延農協にも同様の働きかけを行う予定。)	4/18美唄市農協と協議の結果、広報メロディへの記事掲載(6月号)及び、農作業パート募集のポスター掲示及び持ち帰り用のチラシを、ふれあいサロンや市のロビー等に備え置くこととした。なお、峰延農協にあっては、労働力確保に伴う農業者からの相談等は、これまでないことを確認し、今後相談等があった場合、対応方法等について協議することとした。
1定	予算審査特別委員会:倉本委員 ふるさとハローワークでは雇用保険に関する手続きが行えないと聞くが、岩見沢まで行く不便さがあるので、ワンストップサービスの面からも地元でも手続きができるようにはならないのか。	北海道労働局から、公共職業安定法に基づき、雇用保険の手続きは職安以外では行えないと伺ってきた経過があるが、地元の負担軽減を図るうえで、ふるさとハローワークにおいても、雇用保険の手続きを特例として取り扱うことができないか再度、北海道労働局に相談して参りたい。	・他地区に設置された、ふるさとハローワークから、情報収集を行ったうえで、5月中を目途に北海道労働局へ相談する予定。	
1定	一般質問:五十嵐議員 アンテナショップの24年度以降の進め方、市の関わりについて	平成24年度については、市が事務局を担当し、3年間の補助事業の検証を行うほか、イベントへの出店などの売上の増加に向けた取り組みや、利用者アンケートの実施など、人的な支援も行ってまいりたいと考えている。	平成24年4月1日から、出店者協議会による自主的な運営に移行している。	4月20日アンテナショップ出店者協議会開催。 専門部会を設置し、今後の売り上げ増加対策の強化を図った。

平成24年度 農 政 部 運 営 方 針

H24.4.26
経営会議資料1
(農政部)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを簡易書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
I 農家経営の体質強化と安定化の推進	・美唄市農業ビジョン
II 消費者に信頼される産地づくり	・美唄市農業経営基盤強化促進基本構想
III 森林の保全と活用	・美唄市農業振興地域整備計画 ・美唄市食育推進計画 ・田園環境整備マスタープラン ・美唄市森林整備計画

2 部の経営資源

(平成24年4月1日現在。予算規模は平成24年度予算書から集計)

職員数		予算規模 (単位: 千円)									
正規	19 人	一般会計	413,479	会計	0	会計	0	会計	0		413,479
嘱託	1 人	関係職員費	127,176	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0		127,176
臨時	2 人	公債費	182,518	公債費	0	公債費	0	公債費	0		182,518
計	22 人	計	723,173	計	0	計	0	計	0	合計	723,173

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に簡易書で)

I 農業経営の体質強化と安定化をめざして
① 米などの基幹作物の振興(米、麦、大豆)
② 野菜などを取り入れた経営の複合化
③ 農地の利用集積の促進
④ 生産基盤の整備
⑤ 地域農業を支える多様な担い手の育成・確保
⑥ 地域や農業者が主体的に取り組む農業・農村づくり
II 消費者に信頼される産地をめざして
① 人や環境にやさしい安全・安心な農産物づくり
② 消費者と生産者の結びつきの強化
③ 農業農村に対する理解の促進
III 森林の保全と活用
① 森林の利用と適正管理の推進

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値 (H 2 2 決算)	H24目標値	備 考
・認定農業者数	505 人	→	現状値を維持します
・Eス/グリーン表示制度登録集団数	11 集団	→	現状値を増やします
・森林面積	12,265 h a	12,265 h a	

5 事務事業インテックス I 期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
95-2	営農改善センター (豊華・北美唄) の見直し	「美唄市営農改善センター条例を廃止する条例」平成24年4月1日施行
95-3	開拓婦人ホームの見直し	「美唄市開拓婦人ホーム条例を廃止する条例」平成24年4月1日施行

6 年間スケジュール (3に記載した事項)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
美唄市農業ビジョン 進行管理	・農業振興協議会 幹事会 (年度計画 等の照会、確認)	・農業振興協議会	ビジョンに基づく 施策等の検討					・取組・進捗状況 照会、確認、整理	・農業振興協議会 幹事会 (進捗状況 照会結果の確認、 翌年度計画等の確 認) ・農業振興協議会			
I ③ ⑤ 戸別所得補償制度推進事業 ⑥	・再生協議会総会 ・国上確認作業 人・農地プラン原 案作成委託締結 人・農地プラン策 定・見直し	・再生協議会と して原案作成作 業	・再生協議会補助 金交付 ・農地集積協力金 交付対象ある場合 補正対応	・現地確認作業						農業振興協議会 (数量配分)		
			・青年就農給付金 交付対象ある場合 補正対応					必要ある場合 随時見直し				

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I ① 鳥獣捕獲等事業	・鳥獣被害防止対策協議会総会 ・鳥獣捕獲実施隊体制整備 ・電気さく設置 鳥獣捕獲等委託締結(親友会・美唄支部)		アライグマ講習会開催		アライグマ捕獲状況調査		ヒクマ捕獲報告	野生鳥獣による農作物被害実態調査	鳥獣被害防止計画見直し			・鳥獣保護員推薦
	シカ捕獲許可(～10月末)	ヒクマ捕獲許可(～9/30)		鳥獣被害防止対策(実施隊活動)	キツネ捕獲許可(随時)							
I ② 畑作生産振興事業 II ① (第3の作物の確立)	なたね肥地管理			なたね収穫		なたね播種	小麦播種	小麦肥地管理	なたね調製・搾油	なたね成分分析		
								クリーン農業推進協議会環境確認調査		クリーン農業推進協議会(実績報告等)		
I ④ 国営農地再編整備事業	← 美唄茶志内地区 事業施行申請			知事協議		計画決定・公告・設置 換地委員会設立	地区調査 上美唄地区・西美唄地区 計画確定	実施設計				
								換地計画樹立				
I ④ 道営ほ場整備事業 峰岩・沼の内・中・西美唄地区	← 工事実施							一時利用地指定				
I ④ 道営ほ場整備事業 大富第1地区	←			計画樹立			農林水産省審査	新規増工予算の内示	施行申請	土地改良事業計画		
I ④ 道営ほ場整備事業 大富第2地区	←				計画樹立							政策評価
I ⑤ 農業振興事業	・研修レポート提出			・ふれあいツアー A周知・参加者選定		・無人ヘリJA広報周知・補助金申請受付	・道外・海外研修補助金申請受付	・はつらつ農業大賞推薦受付 ・運営委員会開催				・道外研修補助金申請受付
II ① 農地・水保全管理支払交付事業	採択申請 交付申請			共同活動、向上活動の実施(環境保全)(施設の長寿化)					実施状況の確認			履行確認、実績報告
II ③ 環境保全型農業直接支援対策事業	交付申請			地球温暖化防止等に効果の高い営農活動			取組状況確認		取組状況確認	履行確認、実績報告		
II ② 地域資源を活用した農村と都市の対流事業	・地域おこし協力隊企画事業 地域おこし協力隊活動、一般農泊支援		・修学旅行受入	・修学旅行受入		・修学旅行受入	・修学旅行受入	・地域おこし協力隊企画事業		・地域おこし協力隊事業検証、定着準備		
III ① 森林の利用と適正管理の推進			分収造林地の除間伐・作業道設置委託(申請・発注等)									
			防風林の緑化業務委託									

平成24年第1回市議会定例会における主な課題と対応

(農政部)

質問要旨、一般質問、常任委員会、特別委員会、質問者	答 弁 要 旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
1定 〈一般質問〉 今季の豪雪被害に伴い、本市の基幹産業である農業、特に、水稲作に対する姿勢をはっきりお示しいただきたい。	農業被害対策について、検討作業を進めているところであり、その内容が固まり次第、補正予算も想定されることから、必要な対応をとってまいりたい。	次の施策を実施する ①緊急雇用を活用した倒壊ハウスの撤却支援及び防風林の倒木等除去。 ②破損ハウスの復旧支援。 ③融雪剤の購入支援 ④復旧資金に対する利子助成	・緊急雇用対策①の補正予算2,268千円を専決処分(4月12日) ・第1回市議会臨時会で農業被害対策②～④に関する補正予算30,627千円が可決(4月19日)